

畑作の部

畑作科(長沼町)

I 気象概況

平成13年9月から平成14年10月までの概況は次のとおりである。

平成13年9月：平均気温は上旬が平年よりやや低く、下旬が平年に比べ2.4℃低かった。降水量は上・中旬が多く、9月11日に台風による122mmの集中降雨があった。下旬は降水量は少なかった。日照時間は中旬が少なかった。

10月：平均気温は上旬は低く、中旬は最低気温が高かったため平均気温はやや高かった。降水量は上旬、下旬が少なく、中旬は多く、10月11日に55mmの集中降雨があった。日照時間は上旬は少なく、下旬がやや多かった。初霜は平年より4日遅い10月26日であった。

11月：平均気温は上・中旬は平年並、下旬は最高気温が高かったため平均気温は平年よりやや高かった。降水量は中下旬が少なかった。降水日数は平年より8.6日少なかった。日照時間は上旬が少なく、中下旬は多かった。根雪始は平年より6日早い11月30日であった。

12月～平成14年3月：積雪期間の気象は、気温は12月上旬～1月下旬が低温であったが、1月下旬～3月は高く経過し、降雪量は12月が多かったほかは少なく経過した。根雪終は平年より16日早い3月21日で、積雪期間は平年に比べ10日短い111日であった。

4月：平均気温は全般に高く、特に中旬は平年より4.2℃高かった。降水量は上旬が少なく、下旬はやや多かった。日照時間は下旬が多かった。耕鋤始は平年より11日早い4月10日であった。

5月：平均気温は全般に高く、上旬は最高気温が高かったため平均気温は平年より2℃高かった。降水量は全般に少なく、平年比26%であった。日照時間は全般に多く、特に上旬が多かった。晩霜は平年より3日遅い5月3日であった。

6月：平均気温は上旬が高く、中、下旬は低かった。6月12, 13, 23, 24, 25日は平均気温が11.0～11.7℃と特に低温であった。降水量は上旬、下旬が多く、6月2日に36.5mmの集中降雨があった。降水日数は平年より2.6日少なく、日照時間は平年より多かった。

7月：平均気温は全般に低く、上旬は最高気温が平年より低かったため、平均気温は平年よりやや低かった。降水量は上・中旬が多く、7月7日に35.5mmの集中降雨があった。下旬は降水量は少なかった。日照時間は中旬が少なかった。

8月：平均気温は全般に低く、中・下旬は平年より2℃以上低かった。降水量は平年比62%であったが、各旬とも21mm以上の適度な降雨があった。日照時間は平年比56%と少なく、8月8～13日は6日連続で日照時間が0時間であった。

9月：上旬は最高気温が高かったため平均気温は平年より高かった。中・下旬は最低気温が平年より低かったため平均気温は平年より低かった。降水量は上・中旬は平年比12%と少なく、下旬は平年並であったが、9月28日に43.5mmの集中降雨があった。降水日数は平年より8.8日少なく、日照時間は全般に平年より多かった。

10月：平均気温は上・中旬は高かったが、下旬は低かった。降水量は上旬・下旬は多かったが、中旬は0.5mmとほとんどなかった。日照時間は上旬・下旬は少なく、中旬は多かった。10月19日に初霜があり、平年より2日早かった。

以上、農耕期間(4～10月)の気象を要約すると、平均気温は4月上旬～6月上旬までは高温、9月上旬を除いて6月中旬～9月下旬は低温であったが、積算平均気温は平年より43℃高い3,097℃とほぼ平年並であった。降水量は5月は少なく、6月～8月までは多く、9月上・中旬は少なかった。積算降水量は平年より138mm少ない614mmであった。日照時間は5月～6月は多めで、7月～8月は寡照傾向であり、9月は再び多くなった。積算日照時間は平年より44時間多い999時間と、ほぼ平年並であった。

気象表

道立中央農試(アメダス長沼)

年月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平成13年	9月 上旬	18.5	19.0	-0.5	22.4	23.3	-0.9	14.9	15.1	-0.2	93.0	36.5	56.5	4.0	5.0	-1.0	51.3	50.8	0.5
	中旬	16.9	16.9	0.0	20.1	21.3	-1.2	14.1	12.6	1.5	134.0	36.9	97.1	3.0	3.9	-0.9	25.2	48.2	-23.0
	下旬	12.8	15.2	-2.4	18.3	19.8	-1.5	7.1	10.5	-3.4	4.0	54.2	-50.2	3.0	5.1	-2.1	59.5	47.5	12.0
10月	上旬	11.8	12.8	-1.0	16.2	17.5	-1.3	7.6	8.1	-0.5	21.5	37.4	-15.9	4.0	3.6	0.4	31.7	47.7	-16.0
	中旬	11.2	10.7	0.5	15.3	15.6	-0.3	7.4	5.6	1.8	77.5	28.3	49.2	5.0	4.0	1.0	42.8	47.1	-4.3
	下旬	9.3	9.0	0.3	14.4	13.6	0.8	3.9	4.3	-0.4	11.0	35.1	-24.1	3.0	5.4	-2.4	52.2	47.2	5.0
11月	上旬	6.0	6.1	-0.1	10.3	10.3	0.0	1.1	1.7	-0.6	27.0	21.6	5.4	4.0	4.5	-0.5	28.9	38.1	-9.2
	中旬	3.2	3.3	-0.1	7.2	7.1	0.1	-0.7	-0.7	0.0	11.5	34.4	-22.9	3.0	5.6	-2.6	37.6	27.8	9.8
	下旬	2.4	1.7	0.7	7.0	5.1	1.9	-1.9	-1.5	-0.4	2.0	28.0	-26.0	1.0	5.5	-4.5	44.1	31.2	12.9
12月	上旬	-4.6	-1.0	-3.6	-1.7	2.4	-4.1	-8.7	-4.8	-3.9	34.0	20.4	13.6	5.0	5.3	-0.3	22.7	27.3	-4.6
	中旬	-6.2	-3.6	-2.6	-2.4	-0.2	-2.2	-10.7	-7.8	-2.9	37.5	28.4	9.1	7.0	6.5	0.5	23.5	30.6	-7.1
	下旬	-7.5	-4.1	-3.4	-2.7	-0.4	-2.3	-13.0	-8.9	-4.1	18.0	27.8	-9.8	5.0	6.7	-1.7	40.3	31.9	8.4
平成14年	1月 上旬	-6.7	-5.7	-1.0	-1.4	-1.8	0.4	-11.9	-10.4	-1.5	22.5	27.6	-5.1	2.0	5.4	-3.4	34.1	30.0	4.1
	中旬	-6.2	-6.6	0.4	-2.5	-2.7	0.2	-11.5	-11.9	0.4	21.0	22.7	-1.7	4.0	5.7	-1.7	28.2	30.9	-2.7
	下旬	-3.7	-7.3	3.6	-0.3	-3.1	2.8	-7.4	-12.6	5.2	48.0	22.0	26.0	3.0	6.8	-3.8	36.5	42.3	-5.8
2月	上旬	-2.6	-7.1	4.5	1.7	-2.9	4.6	-8.1	-12.2	4.1	4.0	20.7	-16.7	1.0	5.3	-4.3	47.4	42.1	5.3
	中旬	-4.7	-5.7	1.0	-0.4	-1.6	1.2	-9.2	-10.8	1.6	30.5	24.8	5.7	5.0	6.2	-1.2	37.3	44.0	-6.7
	下旬	-0.1	-4.3	4.2	3.7	-0.2	3.9	-4.7	-9.6	4.9	15.0	15.2	-0.2	4.0	4.3	-0.3	40.6	41.0	-0.4
3月	上旬	-2.0	-3.8	1.8	1.8	0.4	1.4	-6.4	-9.1	2.7	7.5	19.5	-12.0	3.0	4.5	-1.5	41.5	58.1	-16.6
	中旬	1.5	-1.3	2.8	5.0	2.2	2.8	-2.8	-5.6	2.8	3.0	12.3	-9.3	2.0	4.4	-2.4	53.8	54.8	-1.0
	下旬	3.7	0.6	3.1	7.4	4.3	3.1	0.3	-3.5	3.8	19.5	26.3	-6.8	6.0	5.0	1.0	38.9	60.0	-21.1
4月	上旬	5.9	3.5	2.4	10.5	7.5	3.0	1.6	-0.6	2.2	3.5	10.7	-7.2	2.0	3.4	-1.4	53.8	53.9	-0.1
	中旬	9.5	5.3	4.2	13.8	9.6	4.2	5.6	1.2	4.4	18.0	17.5	0.5	6.0	3.4	2.6	48.9	48.0	0.9
	下旬	9.6	7.9	1.7	14.6	12.9	1.7	4.8	3.2	1.6	29.0	17.3	11.7	2.0	3.9	-1.9	67.5	50.1	17.4
5月	上旬	11.0	9.0	2.0	17.0	13.6	3.4	4.9	4.9	0.0	9.0	40.5	-31.5	2.0	5.0	-3.0	89.5	46.2	43.3
	中旬	12.9	11.4	1.5	18.0	16.2	1.8	8.3	7.0	1.3	8.0	39.2	-31.2	2.0	4.2	-2.2	58.7	51.5	7.2
	下旬	13.8	12.9	0.9	18.9	17.5	1.4	9.3	9.0	0.3	12.5	36.0	-23.5	5.0	4.3	0.7	66.7	48.5	18.2
6月	上旬	15.4	13.2	2.2	20.3	17.3	3.0	11.5	9.9	1.6	58.5	17.9	40.6	3.0	4.0	-1.0	57.9	41.1	16.8
	中旬	14.5	15.3	-0.8	18.8	19.7	-0.9	11.5	11.9	-0.4	2.0	16.1	-14.1	1.0	2.7	-1.7	41.3	43.5	-2.2
	下旬	14.2	16.5	-2.3	18.7	21.0	-2.3	10.3	12.9	-2.6	29.0	16.4	12.6	3.0	2.9	0.1	64.4	50.2	14.2
7月	上旬	17.3	18.1	-0.8	20.6	22.2	-1.6	15.1	15.0	0.1	48.5	42.5	6.0	3.0	4.1	-1.1	33.2	37.4	-4.2
	中旬	19.5	19.6	-0.1	22.4	23.6	-1.2	17.2	16.4	0.8	89.0	32.9	56.1	8.0	3.1	4.9	8.4	38.1	-29.7
	下旬	20.2	21.3	-1.1	23.7	25.0	-1.3	17.5	18.7	-1.2	12.5	51.6	-39.1	3.0	4.6	-1.6	33.3	33.4	-0.1
8月	上旬	20.0	20.7	-0.7	23.3	24.5	-1.2	17.1	17.6	-0.5	49.5	57.6	-8.1	6.0	3.5	2.5	23.7	42.6	-18.9
	中旬	18.6	20.6	-2.0	22.1	24.2	-2.1	16.0	17.7	-1.7	31.5	46.5	-15.0	4.0	4.2	-0.2	20.4	36.8	-16.4
	下旬	18.6	20.8	-2.2	21.9	24.8	-2.9	15.5	17.5	-2.0	21.0	59.9	-38.9	3.0	4.1	-1.1	27.2	47.8	-20.6
9月	上旬	19.9	18.9	1.0	24.6	23.0	1.6	15.4	15.1	0.3	1.5	44.2	-42.7	1.0	5.2	-4.2	56.9	49.8	7.1
	中旬	15.8	17.0	-1.2	21.2	21.2	0.0	10.0	13.0	-3.0	9.5	49.6	-40.1	1.0	4.0	-3.0	61.0	44.8	16.2
	下旬	13.8	15.0	-1.2	19.5	19.6	-0.1	8.0	10.2	-2.2	47.5	49.7	-2.2	2.0	4.8	-2.8	53.0	48.3	4.7
10月	上旬	14.9	12.6	2.3	19.3	17.2	2.1	10.7	7.9	2.8	71.0	38.9	32.1	6.0	3.8	2.2	31.3	45.7	-14.4
	中旬	11.5	10.6	0.9	16.7	15.6	1.1	6.0	5.5	0.5	0.5	31.9	-31.4	0.0	3.9	-3.9	65.6	47.6	18.0
	下旬	6.9	9.1	-2.2	11.0	13.8	-2.8	3.1	4.3	-1.2	62.0	34.2	27.8	6.0	5.1	0.9	36.0	49.3	-13.3
11月	上旬	3.1	6.1	-3.0	6.4	10.3	-3.9	-0.5	1.7	-2.2	44.5	22.1	22.4	7.0	4.2	2.8	25.4	38.0	-12.6
	中旬	1.6	3.4	-1.8	5.4	7.3	-1.9	-2.5	-0.7	-1.8	26.0	32.6	-6.6	3.0	5.4	-2.4	32.3	29.2	3.1

注1) データは「アメダス長沼」を使用。平年値は過去10年間(平成13年:平成3～12年、平成14年:平成4～13年)の確定値を平均した値とし、道立中央農試が算出した。本年値は速報値を用いた。

注2) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値を用いた。

季節表

年次	根雪始 (年.月.日)	根雪終 (年.月.日)	積雪期間 (日)	降雪終 (年.月.日)	耕鋤始 (年.月.日)	晩霜 (年.月.日)	初霜 (年.月.日)	無霜期間 (日)	降雪始 (年.月.日)
本年	H13. 11.30	H14. 03.21	111	H14. 03.18	H14. 04.10	H14. 05.03	H14. 10.19	168	H14. 10.29
平年	12.06	04.06	121	04.15	04.21	04.30	10.21	173	11.01
比較	-6	-16	-10	-28	-11	3	-2	-5	-3

注) 平年値は中央農試における平成4年～13年の10年間の平均値を用いた(根雪始のみ平成3～12年の平均値)。

農耕期間の積算値

期間	項目	平均気温 (°C)	最高気温 (°C)	最低気温 (°C)	降水量 (mm)	日照時間 (hr)
	4～10月	本年	3,097	4,046	2,240	614
平年		3,054	3,976	2,234	751	955
比較		43	70	6	-138	44
5～9月	本年	2,507	3,176	1,919	430	696
	平年	2,556	3,200	2,015	601	660
	比較	-49	-24	-96	-172	36

II 作況

1. 秋まき小麦 作況：やや良

事由：播種は降雨の影響により平年より6日遅い9月17日に行なった。出芽後気温は平年並～低く経過し、根雪始が早かったことから越冬前の生育は劣った。根雪終は平年に比べ16日早く、雪腐病の発生は少なかった。起生期以降6月上旬まで高温に経過したため、生育は進行し、出穂期は8～10日早くなった。生育の進行が早かったため茎数の展開も頭打ちになり、平年に比べ茎数は少なかった。6月下旬から気温が低くなり、7月になって曇天が続き気温は平年並～やや低く推移した。そのため登熟期間が、「ホクシン」では5日、「ホロシリコムギ」では7日長くなった。

稈長は平年並～やや低く、穂数は平年並～少ないが、穂長が大きく、登熟期間が長かったため粒大が大きくなった。子実重は「ホクシン」では591kg/10aで平年比116%、「ホロシリコムギ」では525kg/10a、平年比112%であった。リットル重は重く、穂発芽は見られなかったが、成熟期前には曇天で降雨があったため、外観が悪く規格外であった。

以上により、本年の作況は、収量では良であるものの外観品質が規格外と劣るため、やや良とする。

品種名 項目 \ 年次		ホロシリコムギ			ホクシン		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(H13.月.日)	9.17	9.11	6	9.17	9.11	6
出芽期	(H13.月.日)	9.24	9.20	4	9.24	9.19	5
出穂期	(H14.月.日)	5.31	6.10	△ 10	5.29	6.06	△ 8
成熟期	(H14.月.日)	7.20	7.23	△ 3	7.16	7.19	△ 3
冬損程度 (0:無～5:甚)		0.3	1.3	△ 1.0	0.3	1.5	△ 1.2
草丈 (cm)	H13.10.20	14.9	23.7	△ 8.8	15.4	25.8	△ 10.4
	H14.5.20	63.5	45.7	17.8	60.3	45.3	15.0
	H14.6.20	104	100	4	94	94	0
茎数 (本/m ²)	H13.10.20	440	1122	△ 682	455	1209	△ 754
	H14.5.20	832	1168	△ 336	812	1229	△ 417
	H14.6.20	463	620	△ 157	519	725	△ 206
成熟期 における	稈長 (cm)	93	95	△ 2	85	89	△ 4
	穂長 (cm)	9.1	8.4	0.7	8.9	8.2	0.7
	穂数 (本/m ²)	464	513	△ 49	477	618	△ 141
子実重	(kg/10a)	525	469	56	591	510	81
リットル重	(g)	796	764	32	810	780	30
千粒重	(g)	44.9	43.1	1.8	42.9	38.0	4.9
品質	(等級)	規格外	2中	—	規格外	1下	—
子実重平年対比 (%)		112	100	12	116	100	16

注) 平年値は前7か年中、平成9年(最凶)、13年(最豊)を除く5か年平均(各収穫年度)。

2. 春まき小麦 作況：やや良

事由：供試圃場の融雪期が早く、また融雪後降雨が少なく圃場の乾燥が進んだため、播種は平年より14日早い4月12日に行った。播種後の気温がやや高めに経過したため、平年より17日早い4月22日に発芽期に達した。発芽は斉一で、発芽個体数は273個体/m²であった。その後も高温傾向で推移したため、生育は順調であり、出穂期は平年より12日早い6月13日となった。出穂後は一転して気温が平年並から低めに経過したため、登熟期間が長くなり、成熟期は平年比2日早い8月1日となった。

播種が早かったため栄養生長量を十分確保しており、加えて登熟期間が長くなったため千粒重が重く、子実重は545kg/10aと、著しい多収となった。外観品質は、赤かび病が少なく、また降雨前に収穫したため穂発芽はほとんどみられなかったが、充実不足と評価され、平年と同様に規格外となった。

以上により、本年の作況は、収量では良であるものの外観品質が規格外と劣るため、やや良とする。

品種名 項目 \ 年次		ハルユタカ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	4.12	4.26	△ 14
出芽期	(月.日)	4.22	5.09	△ 17
出穂期	(月.日)	6.13	6.25	△ 12
成熟期	(月.日)	8.01	8.03	△ 2
草丈 (cm)	5月20日	30.4	11.5	18.9
	6月20日	90	59	31
茎数 (本/m ²)	5月20日	863	316	547
	6月20日	656	660	△ 4
成熟期 における	稈長 (cm)	96	80	16
	穂長 (cm)	8.6	8.6	0.0
	穂数 (本/m ²)	489	430	59
子実重	(kg/10a)	545	240	305
リットル重	(g)	785	750	35
千粒重	(g)	39.3	34.9	4.4
品質	(等級)	規格外	規格外	—
子実重	平年対比 (%)	227	100	127

注) 平年値は前7か年中、平成8年(最凶)、13年(最豊)を除く5か年平均。

3. 大豆 作況：不良

事由：播種期は平年並の5月20日であった。播種後降雨があり、気温が平年より高く経過したため出芽期は平年より5～6日早かった。6月中旬までは高温で日照時間もやや多く、生育は順調であった。しかし、6月下旬以降は低温少照の気象となり、開花期は平年より3～4日遅かった。8月以降も引き続き低温少照で経過したため、生育は軟弱徒長気味となった。主茎長は両品種とも平年を大きく上回り、倒伏は「ツルムスメ」では発生しなかったが、「ユウヅル」は多発生となった。「ツルムスメ」の成熟期は、9月上～中旬が少雨・多照に経過したため、平年並となった。「ユウヅル」の成熟期は、9月下旬以降の気温が低く経過したため、平年より12日遅れとなった。

「ツルムスメ」の主茎節数は平年並、分枝数は平年より少なかった。着莢数は平年並で百粒重はやや重い、一莢内粒数は平年よりかなり少なかった。一莢内粒数の減少は、7月中旬～8月下旬の低温少照の影響と考えられる。このため、子実重は平年比93%であった。屑粒率は平年並、外観品質は平年よりやや劣った。

「ユウヅル」の主茎節数は平年を大きく上回り、分枝数は平年より少なかった。着莢数、百粒重、一莢内粒数とも平年を大きく下回った。このため、子実重は平年比74%であった。8月中～下旬の低温による裂開粒が発生し、屑粒率も平年を上回った。外観品質は裂皮が多発ししわ粒も多かったため、平年より劣る規格外であった。

以上により、本年の作況は不良である。

品種名		ツルムスメ			ユウヅル		
項目	年次	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.20	5.21	△ 1	5.20	5.21	△ 1
出芽期	(月.日)	5.30	6.04	△ 5	5.29	6.04	△ 6
開花期	(月.日)	7.23	7.19	4	7.30	7.27	3
成熟期	(月.日)	9.28	9.27	1	10.26	10.14	12
主茎長 (cm)	6月20日	11.0	10.2	0.8	11.5	10	1.5
	7月20日	51.8	43.1	8.7	49.3	37.2	12.1
	8月20日	66.3	52.3	14.0	99.6	76	23.6
	9月20日	67.2	53	14.2	101.2	77.7	23.5
	成熟期	67.5	52.8	14.7	107.2	75.7	31.5
主茎節数 (節)	6月20日	4.0	3.3	0.7	4.0	3.2	0.8
	7月20日	10.2	10.5	△ 0.3	9.9	9.8	0.1
	8月20日	12.3	12.3	0.0	16.5	14.8	1.7
	9月20日	12.1	12.6	△ 0.5	16.6	15.3	1.3
	成熟期	12.1	12.4	△ 0.3	16.8	14.4	2.4
分枝数 (本/株)	7月20日	7.2	4.9	2.3	6.9	2.6	4.3
	8月20日	5.8	5.8	0.0	5.1	5.3	△ 0.2
	9月20日	3.6	5.7	△ 2.1	3.5	5.2	△ 1.7
	成熟期	4.6	5.9	△ 1.3	2.6	5.0	△ 2.4
着莢数 (莢/株)	9月20日	46.5	50.4	△ 3.9	51.0	59.8	△ 8.8
	成熟期	50.9	50.9	0.0	47.4	59.0	△ 11.6
一莢内粒数		1.73	1.90	△ 0.17	1.63	1.85	△ 0.22
子実重	(kg/10a)	309	332	△ 23	268	363	△ 95
百粒重		46.8	45.4	1.4	40.9	44.4	△ 3.5
屑粒率	(%)	1.6	1.3	0.3	5.3	1.0	4.3
品質	(等級)	3中	3上	—	規格外	3下	—
子実重平年対比	(%)	93	100	△ 7	74	100	△ 26

注1) 平年値は前7か年中、平成8年(最凶)、10年(最豊)を除く5か年平均。

ただし、「ユウヅル」は平成9,12年(湿害,茎疫病多発)も除く3か年平均。

注2)前期「ツルムスメ」の一莖内粒数は誤りで、上記数値に訂正します。

4. 小豆 作況：良

事由：播種期は平年より6日遅い5月27日であった。播種後高温に推移したが、降水量が少なかったため出芽期も6日遅くなった。6月下旬以降やや低温～低温に経過し、生育が遅れ開花期は平年より4日遅い7月29日であった。開花期以降も低温に推移したが、障害を受けるほどではなく、登熟期間が長くなった。9月上旬は気温が高く、中旬は多照のため着莢数は多くなった。また、登熟期間が長くなったことから百粒重は平年より重くなった。そのため子実重は386kg/10aで、平年比182%の多収となった。成熟期に降雨が少なかったことから屑粒率は平年並であった。

以上により、本年の作況は良である。

品種名 項目 \ 年次		エリモシヨウズ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.27	5.21	6
出芽期	(月.日)	6.14	6.08	6
開花期	(月.日)	7.29	7.25	4
成熟期	(月.日)	9.19	9.03	16
主茎長 (cm)	6月20日	3.5	5.4	△ 1.9
	7月20日	13.4	17.7	△ 4.3
	8月20日	47.8	44.4	3.4
	成熟期	48.6	42.5	6.1
主茎節数 (節)	6月20日	1.1	1.8	△ 0.7
	7月20日	6.3	7.5	△ 1.2
	8月20日	11.5	12.4	△ 0.9
	成熟期	11.3	12.0	△ 0.7
分枝数 (本/株)	7月20日	2.8	1.8	1.0
	8月20日	4.1	3.4	0.7
	成熟期	3.1	3.3	△ 0.2
着莢数 (莢/株)	8月20日	59.3	34.0	25.3
	成熟期	50.5	39.6	10.9
一莢内粒数		7.08	6.42	0.66
子実重	(kg/10a)	386	212	174
百粒重	(g)	14.7	11.4	3.3
屑粒率	(g)	4.5	2.4	2.1
品質	(等級)	3中	2下	—
子実重平年対比	(%)	182	100	82

注) 平年値は前8か年中、平成12年(最凶)、13年(最豊)および8年(茎疫病多発)を除く5か年平均。

5. ばれいしょ 作況：良

植付期は5月2日で、平年より2日早かった。植付後好天に恵まれ、萌芽期は5月23日で平年より5日早かった。萌芽後、6月中旬まで高温・多照・乾燥気味で経過したため、生育は早く進み、開花始は6月21日で平年より6日早かった。6月下旬から8月下旬まで曇雨天が続き、やや低温・少照・多雨に経過したため、塊茎肥大はやや緩慢となった。前半の生育が早く進んだため、茎葉の黄化も早まり、枯凋期は8月18日と平年より9日早かった。上いも数は平年比151%と多く、上いも平均1個重は平年比86%と小さかった。上いも収量は4,727kg/10aで平年比132%、中以上収量は平年比127%の多収となり、でん粉価は15.0%で平年よりやや高かった。

以上により、本年の作況は良である。

項目	品種名 年次	男爵薯		
		本年	平年	比較
植付期	(月.日)	5.02	5.04	△ 2
萌芽期	(月.日)	5.23	5.28	△ 5
開花始	(月.日)	6.21	6.27	△ 6
枯凋期	(月.日)	8.18	8.27	△ 9
茎長 (cm)	6月20日 7月20日	32 38	27 39	5 △ 1
茎数 (本/株)	6月20日 7月20日	4.8 4.4	4.4 4.4	0.4 0.0
枯凋期における				
上いも数 (個/株)		14.3	9.5	4.8
上いも平均一個重(g)		75	87	△ 12
上いも重 (kg/10a)		4727	3583	1144
中以上いも重(kg/10a)		3746	2955	791
でん粉価 (%)		15.0	14.4	0.6
でん粉重 (kg/10a)		662	480	182
上いも重平年対比 (%)		132	100	32
中以上いも重 " (%)		127	100	27
でん粉重 " (%)		138	100	38

注) 平年値は前7か年中、平成7年(最凶)、13年(最豊)を除く5か年平均。

「上いも」は21g以上、「中以上いも」は61g以上のいもである。

6. てんさい 作況：良

事由：播種期は3月28日で平年より10日早かった。移植期は5月2日で平年より4日早く、移植時の苗質は良好であった。移植直後の翌朝に最低気温-1.4℃まで低下して強霜が降り、翌々朝にも降霜があったため、葉傷みが生じ、枯死に至った株も散見された。移植後は、晴天の日が続き、高温・干ばつで経過したため、やや多くの補植を要した。6月中旬まで、高温・多照に恵まれ、乾燥気味ながらも、平年を上回る順調な生育を示した。6月下旬から8月下旬まで、曇雨天の不順な天候が続き、やや低温・多雨・少照で経過したため、地上部生育と根部肥大はやや緩慢となった。9月以降、天候の回復とともに、生育は回復に向かい、根部肥大も順調に進んだ。褐斑病の発生は9月中旬頃から認められるようになったが、発生程度は平年より少なかった。収穫期は10月15日で、平年より3日遅かった。茎葉重は6.68t/10aで平年対比156と大きく上回り、根重は8.09t/10aで平年対比108と上回った。根中糖分は15.82%で平年対比98%とやや下回り、糖量は1,280kg/10aで平年対比106%と平年を上回った。

以上により、本年の作況は良である。

品種名(栽培法) 項目 \ 年次		モノホマレ(移植)		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	3.28	4.07	△ 10
移植期	(月.日)	5.02	5.06	△ 4
収穫期	(月.日)	10.15	10.12	3
草丈 (cm)	5月20日	6.4	4.5	1.9
	6月20日	21.8	20.5	1.3
	7月20日	56.6	53.4	3.2
	8月20日	61.5	61.3	0.2
	9月20日	60.8	61.7	△ 0.9
	収穫期	61.1	60.1	1.0
葉数 (枚)	5月20日	5.1	2.3	2.8
	6月20日	23.8	22.3	1.5
	7月20日	21.8	20.5	1.3
	8月20日	29.8	25.0	4.8
	9月20日	37.1	28.2	8.9
	収穫期	36.1	28.6	7.5
根周 (cm)	7月20日	23.8	22.3	1.5
	8月20日	30.1	29.5	0.6
	9月20日	34.5	33.5	1.0
	収穫期	34.9	34.9	0.0
茎葉重		6.68	4.27	2.41
根重	(kg/10a)	8.09	7.47	0.62
根中糖分		15.82	16.11	△ 0.29
糖量	(g)	1280	1206	74
根重平年対比	(%)	108	100	8
根中糖分平年対比	(%)	98	100	△ 2
糖量平年対比	(%)	106	100	6

注) 平年値は前7か年中、平成10年(最豊)、12年(最凶)を除く5か年平均。

耕種概要

平成13年度より、すべての作物で土壌物理性・排水性が改良された基盤整備後の圃場を使用している。

	一区面積 (㎡)	反復	前作物	畦幅 (cm)	株間 (cm)	一株本数	播種粒数 (粒/㎡)	株数 (株/10a)
秋まき小麦	9.6	4	緑肥	30	条播	—	340	—
春まき小麦	7.2	4	緑肥	30	条播	—	340	—
大豆	25.2	3	秋まき小麦	60	20	2	—	8,333
小豆	8.4	3	緑肥	60	20	2	—	8,333
ばれいしょ	10.8	3	春まき小麦	75	30	1	—	4,444
てんさい	14.4	4	緑肥	60	23.8	1	—	7,003

	10a当たり施肥量(kg)				
	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	MgO	堆肥
秋まき小麦	4.0+6.0	12.5	5.0	—	5,000
春まき小麦	10.0	18.0	12.0	5.0	5,000
大豆	1.5	11.0	7.5	3.5	—
小豆	4.0	19.2	9.2	2.4	—
ばれいしょ	10.4	16.8	14.0	5.0	5,000
てんさい	15.4	25.2	16.8	5.6	5,000